

第6学年 国語科学習指導案

2 組 計 34人
指導者 山下操士

1 単元 表現の工夫を読み、それを生かして書こう
(教材『鳥獣戯画』を読む)、「日本文化を発信しよう」光村6年下)

2 単元の目標

- 筆者の絵に対する着眼点や評価、表現の工夫に関する言葉を使うことができる。 【知識及び技能(1)オ】
- 筆者の主張に関わる表現の工夫や絵の示し方を見付けたり、論の展開について考えたりすることができる。 【C読むこと(1)ウ】
- 引用したり図表や写真などを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 【B書くこと(1)エ】
- 目的に応じて情報を読み取ったり、書き表し方を工夫したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって、パンフレットを作ろうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

問題発見力	言語活動(パンフレット作成)、パンフレットのモデル、教材文、既習内容を照らし合わせて、「自分の問い」を立てる力
論理的思考力	「自分の問い」、パンフレットを書くための学習の順番を考えて、「自分の問い」の解決に合った方法や学習形態を選択し、追究する力
創造力	対話的な活動を通して、筆者の書き方の工夫と主張の分かりやすさを関連付け、自分なりの書き方の工夫を創り出す力
振り返る力	5観点での振り返りや、パンフレットの共有と感想の交流から学びの意味を見だし、学習を通して高まった資質・能力に自信をもつ力

4 単元について

(1) 単元の位置とねらい

これまでに子供たちは、第6学年「笑うから楽しい」、「時計の時間と心の時間」で、筆者の主張や論の展開のよさを捉えて伝え合う学習に取り組んできた。

そこで、本単元では、自分の考えを効果的に伝えるための言葉を使い、説明に必要な文章を引用したり、図表や写真などを使ったりして論を展開し、読み手に分かりやすく書く学習をする。そのために、「B書くこと ア 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く言語活動」として、「『鳥獣戯画』を読む」の筆者の表現の工夫、絵の示し方、論の展開を捉え、日本文化の魅力を紹介するパンフレットを書く」言語活動を位置付ける。始めに、言語活動を知り、パンフレットのモデルを見たり、「『鳥獣戯画』を読む」を学習したりすることを確認して、「自分の問い」を立てる。また、言語活動達成のための問いと学習方法の選択から、学習に見通しをもつ。次に、対話的な学習を通して、筆者の書き方の工夫のよさを捉える。そして、捉えた書き方の工夫を用いて、パンフレットを書く。最後に、外国の人にパンフレットを読んでもらい、感想を聞くことで学習を振り返る。

この学習は、「メディアと人間社会」、「大切な人と深くつながるために」で、論の展開や表現の工夫に着目して複数の文章を読み、考えを交流する学習につながっていく。また、効果的な表現になるような構成や絵、写真の見せ方を工夫してまとめていくことは、総合的な学習の時間や他教科でも活用できると考える。

(2) 教材について

本単元の教材『鳥獣戯画』を読むは、国宝の絵巻物「鳥獣人物戯画」甲巻の一場面を解説した説明的文章である。筆者の主張を伝えるために、絵の着眼点と評価が書かれ、語り掛ける言葉や体言止めなどの表現の工夫がされている。また、絵の部分と全体を示すことで、絵巻物の特徴を効果的に伝えている。さらに、子供たちに馴染み深い漫画やアニメの祖ということと、日本文化の特色を述べることで、説得力のある論の展開になっている。これらの書き方の工夫から、本教材は、自分の考えを効果的に伝え、読み手に分かりやすく書く学習をする子供たちにとって、モデルとして適切な教材であると考えられる。

(3) 子供の実態（調査日：令和3年8月2日 調査人数：34人 数字は%）

学習内容に関する調査	【調査1】「精査・解釈」に関する能力 [目的に応じて必要な情報を見付ける調査問題の結果]
	・ 目的に応じて必要な情報を見付けることができる。 (65)
	・ 目的に応じて必要な情報を見付けることがもう少しである。 (35)
	【調査2】「考えの形成・記述」に関する能力 [グラフを用い、事実と意見を区別して自分の考えを書く調査問題の結果]
・ グラフを用い、事実と意見を区別して自分の考えを書くことができる。 (44)	
・ グラフを用い、事実と意見を区別して自分の考えを書くことがもう少しである。 (56)	
学び方に関する調査	【調査3】「自分の問い」を立てることへの意識
	いつもできている(26) ときどきできている(59) あまりできていない(15)
	【調査4】「自分の問い」の解決への見通しを立てることへの意識
	いつもできている(35) ときどきできている(50) あまりできていない(15)
	【調査5】「自分の問い」を追究しながら考えを広げたり深めたりすることへの意識
	いつもできている(20) ときどきできている(62) あまりできていない(18)
【調査6】学習を振り返り、学びを自覚していることへの意識	
いつもできている(26) ときどきできている(62) あまりできていない(12)	

【学習内容に関する調査】の調査1では、35%の児童の誤答傾向として、必要な情報がある程度読み取ることにはできているが、必要な情報を文章から正確に特定することに不十分さが見られた。また、調査2では、56%の児童の誤答傾向として、グラフを正確に読み取ることにはできているが、グラフから読み取れること、そこから考えられること、その文章で伝えたい主張の三つの内容の一貫性のなさが目立った。これらのことから、何が必要な情報かを考えて文章から正確に特定する手立てと、目的を明確にしつつ、自分の考えが伝わるように、論に一貫性をもって書く手立てが必要であると考えられる。

【学び方に関する調査】の結果から、「自分の問い」をもち、学びを進めることがいつもできている児童が2割から3割程度であった。また、考えを広げたり深めたりすることは、他の学び方と比べてできている児童の割合が少ない傾向であった。これらのことから、特に、学びの価値を見いだす原動力となる「自分の問い」を立てるための手立てと、考えを広げたり深めたりするための手立てが必要であると考えられる。

そこで、本単元の指導に当たっては以下のような手立てを行うこととする。

5 指導に当たって

(1) 「必要性」を実感する教師の手立て

「自分の問い」づくりタイムでは、学習の目的を明確にするために、外国の人に日本文化の魅力を伝えるパンフレットを書くという言語活動を示す。また、試しにパンフレットを書き、教師作成のパンフレットのモデルと比べることで、教材文を読む必然性をもち、「分かりやすく伝えるためには、何をどのように書けばよいか。」という「自分の問い」を立てることができるようにする。

(2) 「自律性」を実感する教師の手立て

「自分の問い」追究タイムでは、問いを解決するために、個々の問いを交流し、解決につながる学習計画を立てる。その際、個々やグループの学習の効果を理解することで、自ら学習形態を選択・決定できるようにする。また、既得の知識及び技能や働かせたい言葉による見方・考え方を提示することで、「自分の問い」の解決につながる書き方の工夫を見付けることができるようにする。その際、段落や文末表現、文の意味に着目して本文に線を引いたり囲んだりすることで、必要な情報を正確に特定することができるようにする。

(3) 「関係性」を実感する教師の手立て

「自分の問い」交流タイムでは、考えに自信をもつことができるように、同じ書き方の工夫を調べた子供が交流する場を設定する。更に、考えを広げたり深めたりすることができるように、他の書き方の工夫を調べた子供が交流する場も設定する。その際、書き方の工夫と主張とのつながりを板書で可視化することで、論に一貫性をもたせるよさを実感できるようにする。書く際には、自分の主張を基に記事の内容や表現を検討することで、論に一貫性をもって書くことができるようにする。

(4) 「有用性」を実感する教師の手立て

「自分の問い」振り返りタイムでは、学びの意味を見いだすために、毎時間5観点で振り返る。また、単元の終末に、連続・発展していった「自分の問い」を再確認することで、学習全体を振り返る。振り返りの際は、教師が価値付けることで、学びの価値を実感できるようにする。さらに、外国の人からパンフレットの感想を聞く場を設定することで、学びの価値をより実感できるようにする。

6 指導・評価計画 (全 11 時間)

過程 (時)	主 な 学 習 活 動	学びの価値を見いだす 子供の反応	主な教師の手立てと重点評価項目(◆)
つかむ・見通す (2)	<p>【「自分の問い」づくりタイム】</p> <p>1 言語活動を知り、「自分の問い」を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本文化の魅力を外国の人に伝えるためには、どのようにパンフレットを書けばよいだろうか。</p> </div> <p>【「自分の問い」追究タイム】</p> <p>2 学習の見通しをもつ。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>日本文化の魅力を外国の人に伝えるためには、どのようにパンフレットを書けばよいだろうか。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>『鳥獣戯画』を読む」を読むと、分かりやすく伝えるための書き方が分かりそうだ。</p> </div>	<p>㊸ 言語活動を紹介し、試しにパンフレットを書いてみることで、目的意識と学習への必然性を持ち、「自分の問い」を立てることができるようにする。</p> <p>㊹ 「自分の問い」を交流し、問いと学習方法を選択することで、学習の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>㊺ 筆者の書き方の工夫について考えるための観点を提示することで、自分が追究したい書き方の工夫を選択・追究できるようにする。</p>
調べる (4)	<p>3 教材『鳥獣戯画』を読む」の筆者の主張をまとめる。</p> <p>4 筆者の文章と絵の結び付け方を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の絵の着眼点と評価をまとめる。 ・ 筆者の絵巻物の着眼点と評価をまとめる。 <p>5 どんな書き方の工夫があるか追究する。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>読んでみると、筆者は、「人類の宝」と主張していることが分かった。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>この主張を述べるために、どんな書き方の工夫をしているのだろう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>文章と絵を結び付けるなどの工夫をしていることが分かった。</p> </div>	<p>㊻ 思考共有ツールを使って、追究した書き方の工夫が表れている叙述と、そこから考えられることを整理することで、筆者の書き方の工夫を理解することができるようにする。</p> <p>㊼ 他の書き方の工夫を調べた子供と交流することで、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>◆ 筆者の主張と、論の展開、表現の工夫、絵の示し方との関わりを捉えている。</p> <p>【思考・判断・表現：ワークシート、発言】</p>
深める (3)	<p>【「自分の問い」交流タイム】</p> <p>6 見付けた工夫について、分かったことをまとめる。【本時】</p> <p>【「自分の問い」追究・交流タイム】</p> <p>7～9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介したい日本文化を決めパンフレットの構成を考える。 ・ 著作権への理解を深め、必要に応じて調べながら、パンフレットを書く。 ・ 書いたパンフレットを友達と見せ合い、推敲する。 <p>【「自分の問い」振り返りタイム】</p> <p>10 外国の人に読んでもらい、感想を聞く。</p> <p>11 自分たちの書き方の工夫のよさを共有し、「自分の問い」を再確認して、学習全体を振り返る。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>交流したことで、筆者の書き方の工夫のよさが分かった。自分が書くときにも生かしてみたいな。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>外国の人に読んでもらうためには、どんなことに気を付けて書けばよかったのかな。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>着眼点と評価、書き方の工夫を使うと、伝えたいことをパンフレットに書くことができた。</p> </div>	<p>㊽ 学習したことを使ってパンフレットを書き、自分たちの書き方の工夫のよさを友達と交流することで、学びの価値を自覚することができるようにする。</p> <p>◆ 自分の考えを効果的に伝えるための図表や言葉を使ってパンフレットを書いている。</p> <p>【知識・技能：パンフレット】</p> <p>㊿ 5観点で「自分の問い」や学習を振り返ることで、学びのよさを実感できるようにする。</p> <p>㊽ 自分たちが書いたパンフレットについて、感想をもらうことで、学びの価値を実感できるようにする。</p>
生振りかき返す (2)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>絵の着眼点と評価を書き、論の展開、表現の工夫、絵の示し方という書き方の工夫をしながら、読み手を意識して書くとよい。</p> </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>読み手を意識して書くことで、伝えたいことをしっかり伝えることができた。他教科でも生かしてみたいな。</p> </div>	<p>◆ 学習したことを生かして、粘り強くパンフレットを書こうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度：パンフレット、発言】</p>

7 本 時 (6/11)

(1) 目 標

目的に応じて、考えを効果的に伝えるための書き方の工夫を捉えることができる。

(2) 展 開

□ 教師の言葉掛け □ 子供の反応 ◆ 重点評価項目

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	主な教師の手立て
つかむ・見通す (5)	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の「自分の問い」を立てる。【「自分の問い」づくりタイム】</p> <p>自分の考えをよりよく伝えるために筆者の書き方の工夫はどのようなものがあるのだろう。</p> <p>2 「自分の問い」の解決の見通しをもつ。</p> <p>他の人はどんな書き方の工夫を見つけたのだろう。</p> <p>同じ書き方の工夫を調べた人と交流して、自分の考えを確かめたいな。</p> <p>他の書き方の工夫を調べた人と交流した方が、解決できそうだな。</p>	<p>㊟ 筆者の書き方の工夫について考えるための観点を示すことで、前時までの学習を振り返ることができるようにする。</p> <p>㊟ 友達が他の書き方の工夫を調べていることを確認することで、「友達が調べた書き方の工夫を知りたい。」という願いから、「自分の問い」を立てることができるようにする。</p> <p>㊟ 「自分の問い」を全体で確認することで、解決の見通しをもつことができるようにする。</p>
調べる (20)	<p>3 同じ書き方や他の書き方の工夫を調べた人と交流する。【「自分の問い」追究、交流タイム】</p> <p>漫画やアニメのことを例に出しているよ。読み手が作品を身近に感じられる効果があると思ったよ。(論の展開)</p> <p>「どうだい。」と語り掛ける言葉は、筆者と一緒に絵を見ているようだね。技の名前が体言止めで書かれていて、文章にリズム感があるね。(表現の工夫)</p> <p>1枚の絵を2枚に分けることで、アニメーションが実感できる効果があるね。(絵の示し方)</p> <p>他の書き方の工夫と合わせてみると、一つ一つが重なっていることが分かるね。</p> <p>それぞれの書き方の工夫は、別々ではなく、つながっているんだね。</p> <p>書き方の工夫は、主張でつながっているんだね。筆者は、「鳥獣戯画」の魅力と、人間の宝であるという主張の説得力を高めるために、いろいろな書き方の工夫をしたんだね。</p>	<p>㊟ 同じ書き方の工夫を調べた子供でグループを作って話し合い、考えの根拠となる叙述を基に書き方の工夫を交流することで、「やっぱり自分の考えはよいな。」と、考えに自信をもつことができるようにする。</p> <p>㊟ 他の書き方の工夫を調べた子供でグループを作って話し合い、考えの根拠となる叙述を基に書き方の工夫を交流することで、「友達の考えもよいな。」「やっぱり自分の考えもよいな。」と、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>㊟ 思考共有ツールを使って、考えを可視化することで、互いの考えを交流しやすくする。</p> <p>㊟ 各グループで交流した考えを全体に発表することで、個々の考えを更に広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>◆ 筆者の主張と、論の展開、表現の工夫、絵の示し方との関わりを捉えることができたか。</p>
深める (10)	<p>5 分かったことをまとめる。</p> <p>筆者は、読者を引きこむために、表現や絵の示し方、論の展開を工夫をしている。</p> <p>6 「自分の問い」に対する振り返りをし、本時の学びを振り返る。【「自分の問い」振り返りタイム】</p>	<p>【思考・判断・表現：ワークシート、発言】</p> <p>㊟ 自分の問いを基に、5観点から選んで振り返りをする。その内の特に、「い」(今後の学習や実生活に生かしたいこと)で学習を振り返ることで、働かせた言葉による見方・考え方の学びの意味を見いだすことができるようにする。また、次時から始まるパンフレット作りの際の問題発見力につなげることができるようにする。</p>
生振り す返る (10)	<p>友達と交流をすることで、自分が調べていない書き方の工夫とそのつながりが分かったよ。</p> <p>友達と交流したことで、他の書き方の工夫についても知ることができたんだね。</p> <p>自分のパンフレットを書くときは、この書き方の工夫を生かして書いてみたい。</p>	<p>㊟ 子供が5観点を基にした様々な振り返りを発表し、教師が価値付けることで、学びの価値を実感できるようにする。</p>

必要性

自律性

契機性

有用性

第6学年国語科 授業デザインシート（単元）

- 1 単元 表現の工夫を読み，それを生かして書こう
 （教材「『鳥獣戯画』を読む」，「日本文化を発信しよう」光村6年下）
- 2 単元で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

問題発見力	言語活動（パンフレット作成），パンフレットのモデル，教材文，既習内容を照らし合わせて，「自分の問い」を立てる力
論理的思考力	「自分の問い」，パンフレットを書くための学習の順番を考えて，「自分の問い」の解決に合った方法や学習形態を選択し，追究する力
創造力	対話的な活動を通して，筆者の書き方の工夫と主張の分かりやすさを関連付け，自分なりの書き方の工夫を創り出す力
振り返る力	5観点での振り返りや，パンフレットの共有と感想の交流から学びの意味を見だし，学習を通して高まった資質・能力に自信をもつ力

3 本単元の授業デザイン

本単元で育成を目指す資質・能力と特に関わりのある学習活動において，以下のような手立てを行い，その有効性を検証しながら授業をデザインすることにした。

	目指す子供の姿	特に関わりのある教師の手立て	時	子供の反応
問題発見力	「日本文化の魅力が外国の人に分かりやすく伝えるには，何をどのように書けばいいのかな。」といった「自分の問い」を立てている。	〈必要性を実感する教師の手立て〉 子供が，試しにパンフレットを書き，モデルと比べることで，「自分の問い」を立てることができるようにする。	1	
論理的思考力	「『鳥獣戯画』を読む」を読むと，分かりやすく伝えるための書き方が分かりそうだ。」など，「自分の問い」の解決に向けて見通しをもって追究している。	〈自律性を実感する教師の手立て〉 子供が，既得の知識及び技能やこれまで働かせてきた言葉による見方・考え方を基に追究したり，個人やグループといった学習形態を選択・決定したりすることで，「自分の問い」の解決に合った筆者の書き方の工夫を追究できるようにする。	2 3	
創造力	「交流したことで，筆者の書き方の工夫のよさが分かった。自分が書くときにも生かしてみたいな。」など他者との交流によって考えを広げたり深めたりしている。	〈関係性を実感する教師の手立て〉 子供が，同じ書き方の工夫を調べた子供たちと交流することで，自分の考えに自信をもつことができるようにする。 子供が，他の書き方の工夫を調べた子供たちと交流することで，自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	4 5 6 7 8 9	
振り返る力	「読み手を意識して書くことで，伝えたいことをしっかり伝えることができた。他教科でも生かしてみたいな。」など「自分の問い」の解決に近づいたことや学び方のよさについて実感している。	〈有用性を実感する教師の手立て〉 子供が，5観点（特に「い」）で学習の振り返りをし，教師が価値付けることで，学びの価値を実感することができるようにする。 子供が，連続・発展していった「自分の問い」を再確認し，学習全体を振り返ることで，次時の学習や他の学習及び生活場面の問題発見力へつなげることができるようにする。	10 11	